

今週のメニュー

■トピックス

◇東京都中学校理科教育研究会の工場見学会開催

■随想

◇chemSHERPA 御紹介（終）

－製品含有化学物質規制について（4）－

一般社団法人産業環境管理協会／

アーティクルマネジメント推進協議会 菊池 英明

■編集後記

■トピックス

◇東京都中学校理科教育研究会の工場見学会開催

2016年8月10日(水)、今年で3回目となる東京都中学校理科教育研究会（都中理）の理科教師による工場見学会を開催しました。プラスチック教育連絡会（※）は毎年この取り組みを支援しています。今回は日本プラスチック工業連盟（プラ工連）の会員会社で食品トレー容器の製造・販売と容器のリサイクルを手掛ける株式会社エフピコに協力いただき、同社の関東八千代工場・関東リサイクル工場を見学しました。同社は、日本で唯一「トレー to トレー」のリサイクルを行うなど環境面で先進的な取り組みを行っています。

※（一社）日本化学工業協会、（一社）プラスチック循環利用協会、日本プラスチック工業連盟、塩ビ工業・環境協会の4団体は、2012年度から中学校1年生の理科で「プラスチック授業」が必須になったことを受け、教育現場においてプラスチックについての科学的な見方や知見、プラスチック製品に関する理解を深めてもらうために「プラスチック教育連絡会」を立上げ、様々な教育支援活動を企画・実行しています。2015年度からは、石油化学工業協会、本年度からは発泡スチロール協会も参加しています。

当日は、都中理の観察実験委員会のメンバーを中心とする17名の先生方に参加いただきました。

関東八千代工場ではまず、会社概要、原反製造工程・トレー成型工程について説明いただいた後、両工程を見学しました。ほとんどの工程が自動化されているため運転員は少なく、清潔で整理整頓されているなど、衛生面での配慮が行き届いていることが分かり、先生方も感心しておられました。

午後は、八千代工場と同じ敷地内にある関東リサイクル工場の見学です。まず会議室で、エフピコ方式の「リサイクル トレー to トレー」について説明いただき、その中で、物流に関する話・コストに関する話・障がい者を正社員として雇用している話など、通常では接することのできない企業努力の話も聞かせていただきました。



エフピコ方式リサイクルの説明

説明終了後、会議室のカーテンが開けられると、そこから、発泡スチロール食品トレーのリサイクル設備全体が見学できるようになっていました。工程は、搬入から選別、破碎、洗浄、脱水を経て溶融押出でペレット化されます。特に、選別工程では、再生できないトレーを取り除き、白いトレーとカラートレーに分類する作業を専任の指導者のもとで、障がいのある従業員の方々が熱心に作業されており、その姿がとても印象的で、先生方は、企業が福祉的な取り組みをしていることが分かり、プラスチックだけでなく社会勉強にもなったと話されていました。



会議室からリサイクル設備見学



プラスチックの廃棄による環境問題がクローズアップされている中、製造からリサイクルまで環境に配慮した製品づくり、福祉に取り組む姿を見学いただきましたが、帰りの車内では先生方から、「プラスチックの製造現場、リサイクルについて授業に活かしたい」、「海ごみなどで負のイメージが強かったが、製造やリサイクルにおける企業努力を伺い見方が変わった」、などの感想を頂きました。観察実験委員長からは、来年以降も是非続けたいとの要望を頂いております。

今回の工場見学の経験を、是非、今後の先生方のプラスチック授業に活かしていただけたらと思っています。また、今後、見学会にご参加いただいた先生方の意見や感想を参考にし、より良い教育支援策を企画していきたいと思っております。

■ 随想

◇chemSHERPA 御紹介（終）

－製品含有化学物質規制について（4）－

一般社団法人産業環境管理協会／

アーティクルマネジメント推進協議会 菊池 英明

JAMPは、経済産業省が開発し普及を進めている、新たな製品含有化学物質の伝達スキームである chemSHERPA（ケムシェルパ）を2016年4月より運用しています。この chemSHERPA は、Chemical information SHaring and Exchange under Reporting Partnership in supply chain の関係する頭文字をとったものです。登山時の案内役や荷物運搬を担うシェルパ sherpa に、化学を意味する chem- を付けた造語です。私は毎日念仏のように唱えておりますが、次第に愛着がわいてきました。皆様もどうかご愛顧いただきますよう、宜しくお願いします。

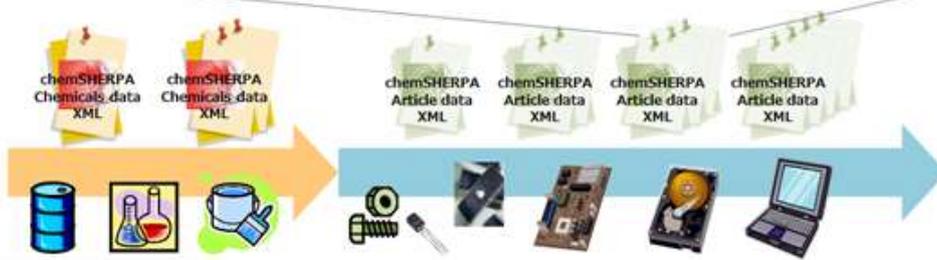
さて、この chemSHERPA は、「川上から川下まで、商社等も含むサプライチェーンに関係する事業者における利用を考慮したデザイン」「情報伝達の対象とする化学物質、情報項目、国際標準を採用したデータフォーマット、など、共通の考え方に基づく情報伝達の

実践が可能」となっています。そして、共通の物質リストに基づく成分情報、成形品については製品分野ごとの遵法判断情報も合わせて、「責任ある情報伝達」として情報を作成し、伝達していきます。

このスキームは JAMP の基本理念に合致したものです。そして、電気電子分野の国際標準である IEC62474 の規格にも準拠していますので、国際的な普及・展開にも優位であり、またデータの入力支援ツールも従来のものより使いやすくなっています。

紙面の都合上、成形品の含有化学物質情報の伝達にハイライトします。

情報項目	対象	データフォーマット
0	ビジネス情報	IEC 62474 XMLスキームを採用
1	成分情報 (階層) - 部品 - マテリアル - 物質の構造	
2	遵法判断情報	



データフォーマットは IEC62474 の XML スキームを使用しています。

伝達する情報は、①会社情報等のビジネス情報と、②chemSHERPA 管理対象物質の成分情報と、③エリア指定した場合の遵法判断情報です。

前回お話しした JAMP の MSDSplus/AIS 用の管理対象物質と同様、限定された法令・業界基準に該当する管理対象物質に関する情報を伝達していくことになります。

なお、“エリアによる指定”という耳慣れない言葉が出てきましたが、これは管理対象基準とした法令や業界基準のなかから、選択して（絞り込んで）、その範囲に含有されている化学物質の遵法性を判断していこう、というものです。初期設定では電気電子機器分野向けに IEC62474 をエリアとして採用しています。今後、必要に応じて別製品分野向けにエリアの追加を検討していきます。

なお、市中に流通している莫大な量の JAMP の従来様式や JGPSSI 様式による製品含有化学物質情報は、もはや貴重な社会資産といっても過言ではありません。可能な限り chemSHERPA へ移行させるしくみ（コンバート）を提供することで、JAMP 従来様式や JGPSSI 様式の利用者の負担を軽減していきたいと考えます。

このメルマガをお読みいただいている皆様には、是非、ご自身の会社のみならず、お取引先会社にも chemSHERPA のご利用を働き掛けていただきたく、宜しくお願いします。

chemSHERPA(ケムシェルパ)に関する情報は[chemSHERPA ウェブサイト](#)をご覧ください。

(終)

⇒ [メルマガ・バックナンバー](#)

■ 編集後記

最近、オリンピックやグランドスラムでの錦織選手の活躍で、テニスがまた注目を浴びるスポーツとなってきました。

私が学生の頃は、ラケットを脇に抱えて原宿を闊歩することが一つのステータスでもあり、テニス部は、部活では、1番人気で毎年100名からの入部があった他、サークルなどでもテニスをしている人が数多くいました。多分私の世代は、何らかでラケットをもった人が多くいるのではないのでしょうか。

私は、老後の趣味と健康管理を考えて7年前から再開後、若者に交じってプレーをしていて勝つことに生きがいを感じていますが、テニスにはシングルス、ダブルスとありダブルスであれば楽しく遊ぶこともできます。あるサークルは、平均年齢が70歳で、83歳の後期高齢者もいてそれぞれにあったプレーをして楽しんでいます。テニスは、誰でも出来るスポーツなのです。

是非、皆さんもやり方はともかくとして、一度トライしてみてもはいかがでしょうか？仲間も出来ますし、何よりも体づくりには最高によいと思います。(旅人)

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 名原 克典

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL info@vec.gr.jp